

冬の花でおもてなし 第12回長島つわぶきウォーキング



号砲と共に元気よくスタート



ツワブキを眺めながらゆっくりと



抽選会の特産品に大満足



ツワブキを眺めながら休憩

12月14日、第12回長島つわぶきウォーキングが開催され、町内外から約550人が参加しました。

町総合町民体育館を発着点とした、赤崎橋パークグランドで折り返す7.5kmコースと、川床ふれあいの郷を折り返す13kmコースで開催。この日、心配されていた雨も上がり恵まれた天候の中、参加者は沿道に咲き誇るツワブキや紅葉に染まる木々、波穏やかな不知火海を眺めながら歩きました。

途中に設けられた休憩所では、蒸かしイモやミカンが準備され、参加者らは歩いたほどよい疲れを癒しゴールを目指しました。

ゴール後は、タイなどの水産物やサツマイモといった長島の特産物が当たる抽選会が行われ、会場はにぎわいました。

初参加で、7.5kmコースを歩いた神之田俊哉さん（薩摩川内市）は「ボランティアの方々に感謝したい。道路も花も海もきれい。行き届いたおもてなしの心を感じる。次回も参加したい」と晴れやかな表情で話しました。

多大な功績に感謝

植元さんが叙位・従六位を受賞

長年にわたる町民福祉の向上や地方自治振興の発展に貢献された功績をたたえ、叙位・従六位が（故）植元敏光さん（葛輪）に贈られ、12月25日に妻の留美子さんに川添町長から手渡されました。

敏光さんは平成3年5月に地域住民に強く推され、東町議会議員に初当選し、平成18年4月から平成26年4月まで、長島町議会議員として在職し、合わせて22年11カ月の長きにわたり、町議会議員を務めました。

この間、県道葛輪瀬戸線の全線改良、福祉事務所の設置など多くの基盤整備に尽力。さらに東町総合振興計画のスターニック運動を展開し、中心的な事業として世界のかんきつ類を展示する「日本マンダリンセンター」の完成に至り「世界マンダリン祭り」の開催にも大きく貢献しました。

留美子さんは「当時は大変だと思っても多かったが、振り返ると、あの時が

一番楽しかった。主人の功績が認められてうれしく思う」と話しました。



従六位を受け取る留美子さん